
和光市地域公共交通計画
民生委員アンケート調査結果

令和3年

[目 次]

1 調査の目的	1
2 回収結果	1
3 調査報告書の見方	1
4 単純集計	2
4-1 担当地区の実態	2
4-2 担当地区内の高齢者の移動実態	7
4-3 担当地区内の子育て世代の移動実態	19
4-4 公共交通の現状や今後の在り方について	28

1 調査の目的

- 交通弱者（高齢者や子育て世代等）の生活実態及び外出時の困りごと・問題点等、市民の「生の声」を把握するため、民生委員アンケート調査を実施した。

2 回収結果

配布枚数	92 票
回収数	60 票
有効回収率	65.2 %

3 調査報告書の見方

- 図表中の「N」は設問の有効回答数を示します。
- 図表中の「MA」は複数回答の設問での有効回答数合計を示します。
- 調査結果のグラフは、各回答の比率（％）で表示しています。
- 各回答の比率（％）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の比率（％）の合計が100％にならない場合があります。
- 複数回答は、「非該当」は除いているため、合計値は回答者全体の数と一致しない場合があります。
- 複数回答の場合、回答件数の合計は回答者数(100％)を超える場合があります。
- 自由意見は、調査票に記入された内容をほぼ原文どおりに記載しています(特定の団体や企業、個人が特定できる表現は削除しています)。
- 一つに回答に対して複数回答している等、本人の意思が読み取れない回答については集計上無回答に分類しています。

4 単純集計

4-1 担当地区の実態

(1) 【問 1-1】担当地区

- 担当地区では、「新倉」が 26.7%(16 人) と最も高く、次いで「白子」が 25.0%(15 人)と続いている。

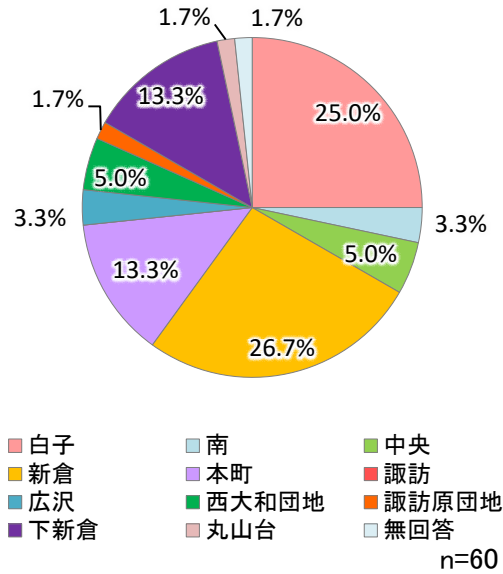


図 1 担当地区

表 1 担当地区

	回答数	割合
白子	15	25.0%
南	2	3.3%
中央	3	5.0%
新倉	16	26.7%
本町	8	13.3%
諏訪	0	0.0%
広沢	2	3.3%
西大和団地	3	5.0%
諏訪原団地	1	1.7%
下新倉	8	13.3%
丸山台	1	1.7%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

(2) 【問 2-1】 担当地区内住民の買い物・通院などの「交通手段」

・買い物・通院などの「交通手段」では、「徒歩」と「自転車」が56.7%(34人)と最も高く、次いで「自家用車(自分で運転)」が36.7%(22人)と続いている。

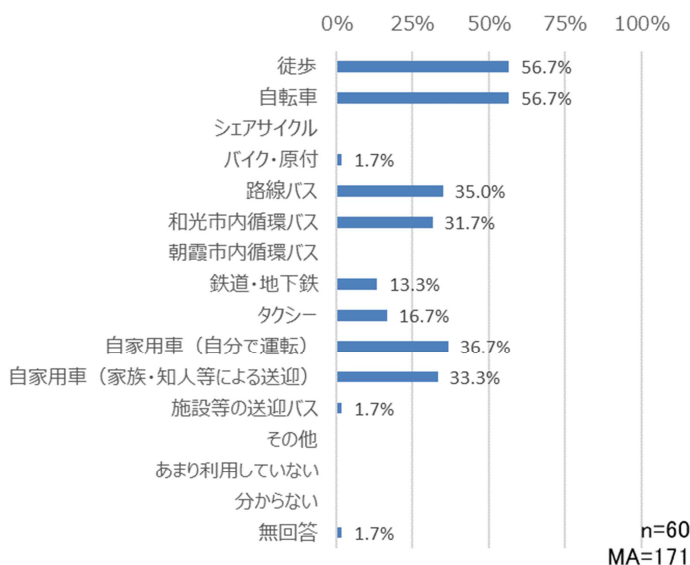


表 2 買い物・通院などの「交通手段」

	回答数	割合
徒歩	34	56.7%
自転車	34	56.7%
シェアサイクル	0	0.0%
バイク・原付	1	1.7%
路線バス	21	35.0%
和光市内循環バス	19	31.7%
朝霞市内循環バス	0	0.0%
鉄道・地下鉄	8	13.3%
タクシー	10	16.7%
自家用車(自分で運転)	22	36.7%
自家用車(家族・知人等による送迎)	20	33.3%
施設等の送迎バス	1	1.7%
その他	0	0.0%
あまり利用していない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	171	285.0%

図 2 買い物・通院などの「交通手段」

(3) 【問 3】 担当地区内住民の買い物・通院などの交通手段の利便性

・買い物・通院などの交通手段の利便性では、「不便」が36.7%(22人)と最も高く、次いで「便利」が23.3%(14人)と続いている。

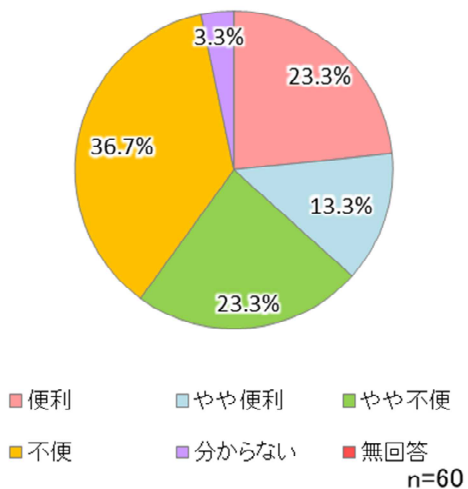


表 3 買い物・通院などの交通手段の利便性

	回答数	割合
便利	14	23.3%
やや便利	8	13.3%
やや不便	14	23.3%
不便	22	36.7%
分からない	2	3.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

図 3 買い物・通院などの交通手段の利便性

(4) 【問 4】 担当地区内の外出をするにあたり制約がある方

• 外出をするにあたり制約がある方では、「いる」が 70.0%(42 人) と最も高く、次いで「分からない」が 20.0%(12 人)と続いている。

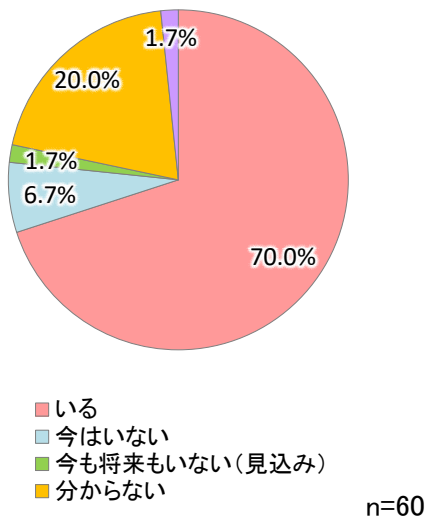


表 4 外出をするにあたり制約がある方

	回答数	割合
いる	42	70.0%
今はいない	4	6.7%
今も将来もない(見込み)	1	1.7%
分からない	12	20.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

図 4 外出をするにあたり制約がある方

(5) 【問 5-1】 外出をするにあたり制約がある方の世帯数

• 外出をするにあたり制約がある方では、「1~10 世帯」と「10~25 世帯」が 15.0%(9 人) と最も高い。

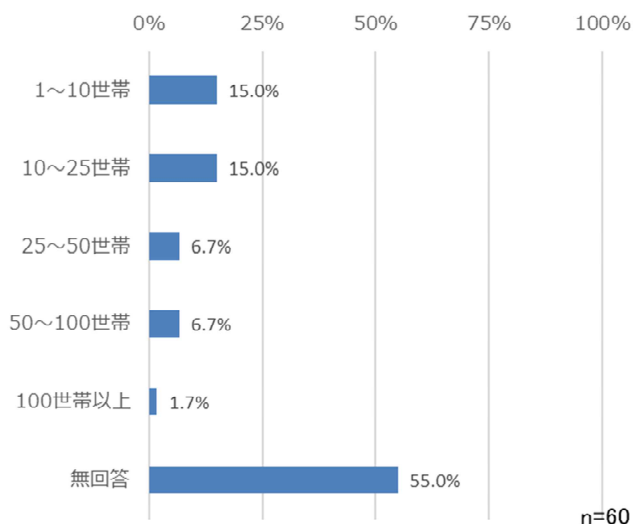


表 5 外出をするにあたり制約がある方の世帯数

	回答数	割合
1~10世帯	9	15.0%
10~25世帯	9	15.0%
25~50世帯	4	6.7%
50~100世帯	4	6.7%
100世帯以上	1	1.7%
無回答	33	55.0%
合計	60	100.0%

図 5 外出をするにあたり制約がある方の世帯数

(6) 【問 5-2】 外出をするにあたり制約がある方の人数

• 外出をするにあたり制約がある方の人数では、「1～10名」が13.3%(8人)と最も高く、次いで「10～25名」が10.0%(6人)と続いている。

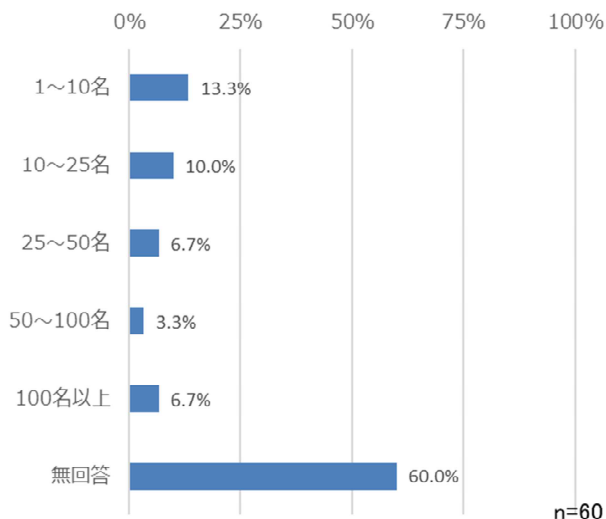


表 6 外出をするにあたり制約がある方の人数

	回答数	割合
1～10名	8	13.3%
10～25名	6	10.0%
25～50名	4	6.7%
50～100名	2	3.3%
100名以上	4	6.7%
無回答	36	60.0%
合計	60	100.0%

図 6 外出をするにあたり制約がある方の人数

(7) 【問 6】 担当地区内の交通弱者

• 交通弱者では、「高齢のため運転を控えている、または運転免許証を返納した方」が60.0%(36人)と最も高く、次いで「体の不自由な方」が45.0%(27人)と続いている。

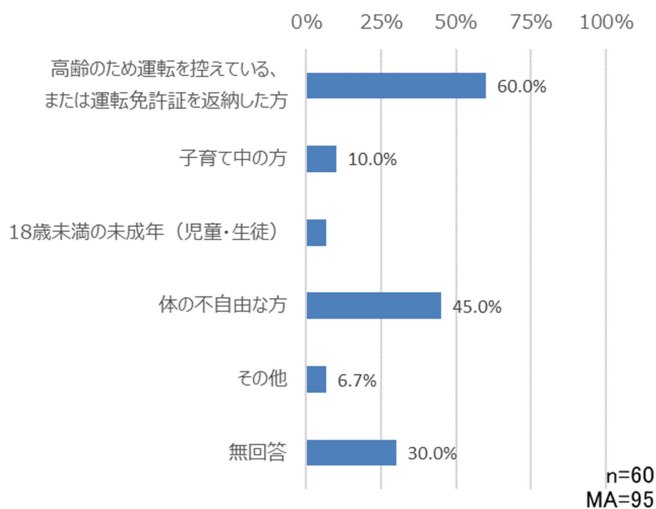


表 7 交通弱者

	回答数	割合
高齢のため運転を控えている、または運転免許証を返納した方	36	60.0%
子育て中の方	6	10.0%
18歳未満の未成年（児童・生徒）	4	6.7%
体の不自由な方	27	45.0%
その他	4	6.7%
無回答	18	30.0%
合計	95	158.3%

図 7 交通弱者

(8) 【問7】 担当地区内の交通弱者の移動手段

• 交通弱者の移動手段では、「徒歩」が48.3%(29人)と最も高く、次いで「自家用車（家族・知人等による送迎）」が38.3%(23人)と続いている。

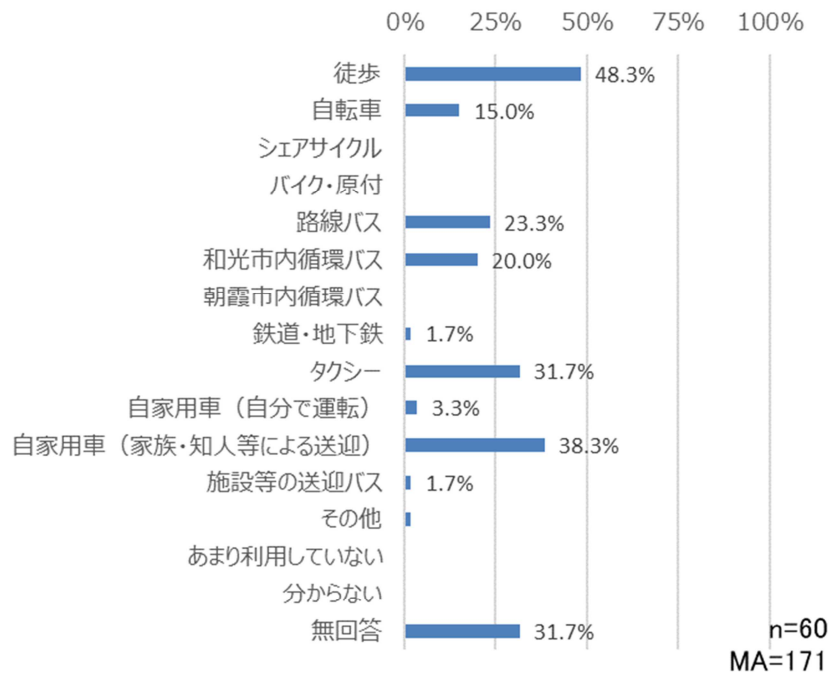


図 8 交通弱者の移動手段

表 8 交通弱者の移動手段

	回答数	割合
徒歩	29	48.3%
自転車	9	15.0%
シェアサイクル	0	0.0%
バイク・原付	0	0.0%
路線バス	14	23.3%
和光市内循環バス	12	20.0%
朝霞市内循環バス	0	0.0%
鉄道・地下鉄	1	1.7%
タクシー	19	31.7%
自家用車（自分で運転）	2	3.3%
自家用車（家族・知人等による送迎）	23	38.3%
施設等の送迎バス	1	1.7%
その他	1	1.7%
あまり利用していない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
無回答	19	31.7%
合計	130	216.7%

4-2 担当地区内の高齢者の移動実態

(1) 【問 8-1】 高齢者の買物先

- 高齢者の買い物の移動状況では、「イトーヨーカドー和光店」が 28.3%(17 人) と最も高く、次いで「ベルク西大和店」「坂下ショッピング」が 11.7%(7 人)と続いている。

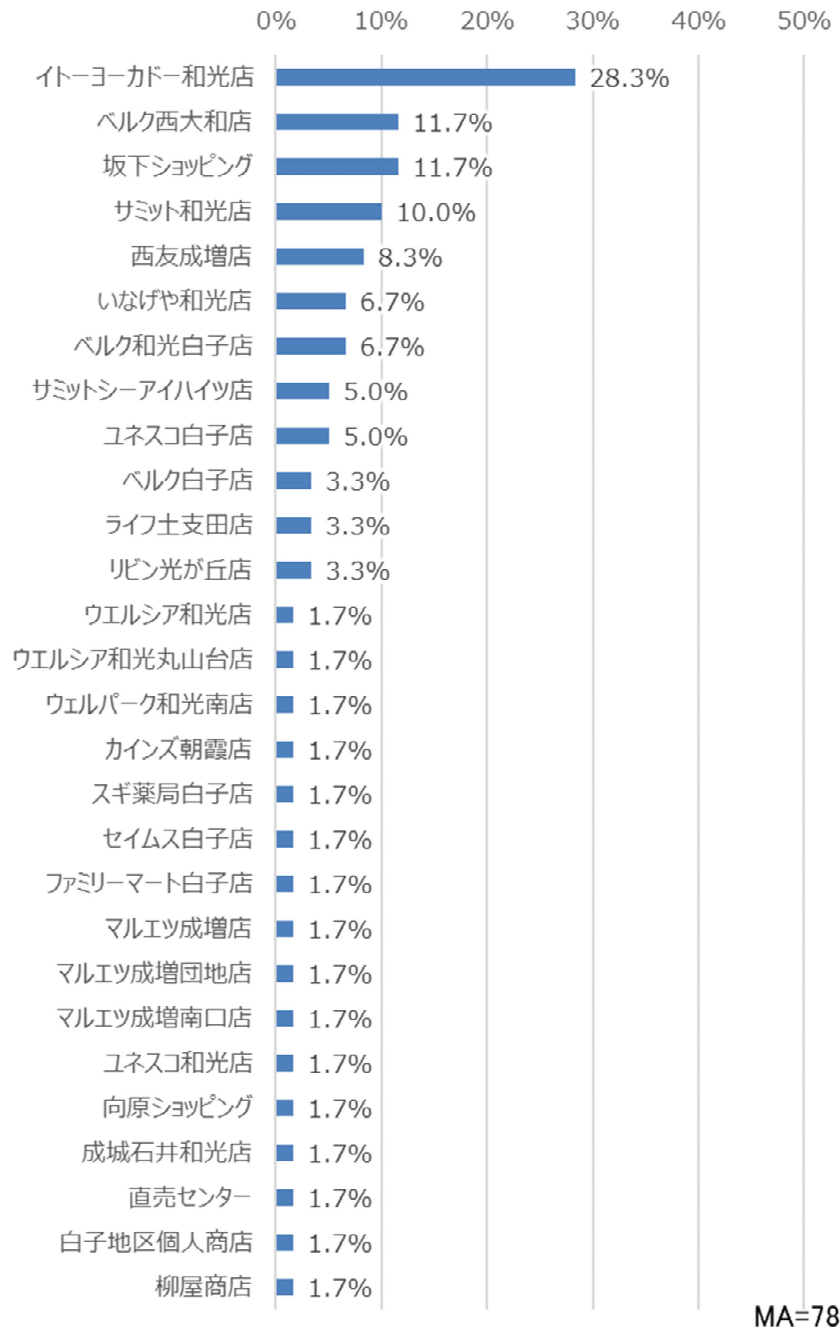


図 9 利用店舗名 高齢者の買い物の移動状況

(2) 【問 8-1】 高齢者の買物における交通手段

• 高齢者の交通手段では、「徒歩」が 67.4%(89 人) と最も高く、次いで「自転車」が 43.2%(57 人)と続いている。

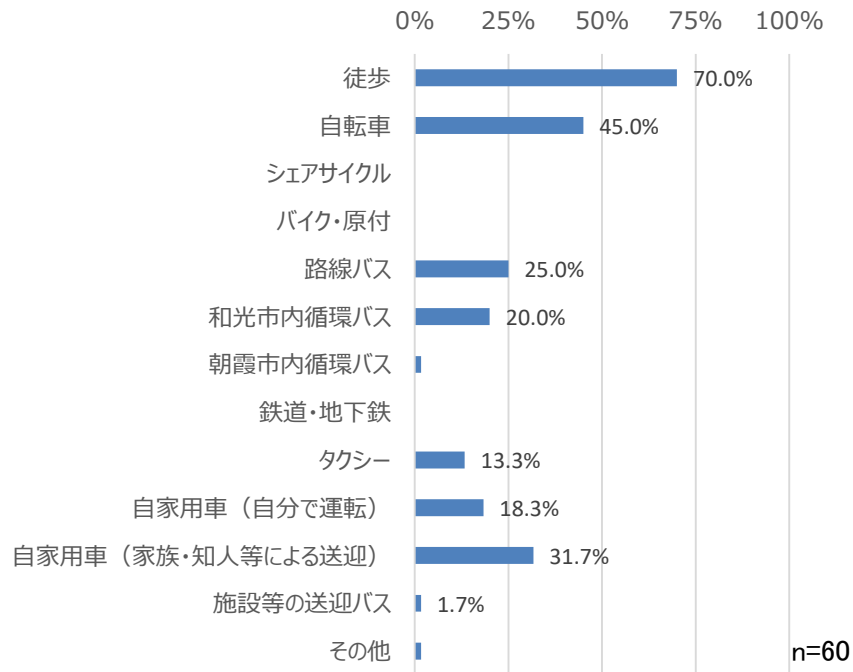


図 10 高齢者の買物における交通手段

(3) 【問 8-2】 高齢者の通院先

- 高齢者の通院時の移動状況では、「埼玉病院」が 56.7%(34 人) と最も高く、次いで「勝海外科」が 38.3%(23 人)と続いている。

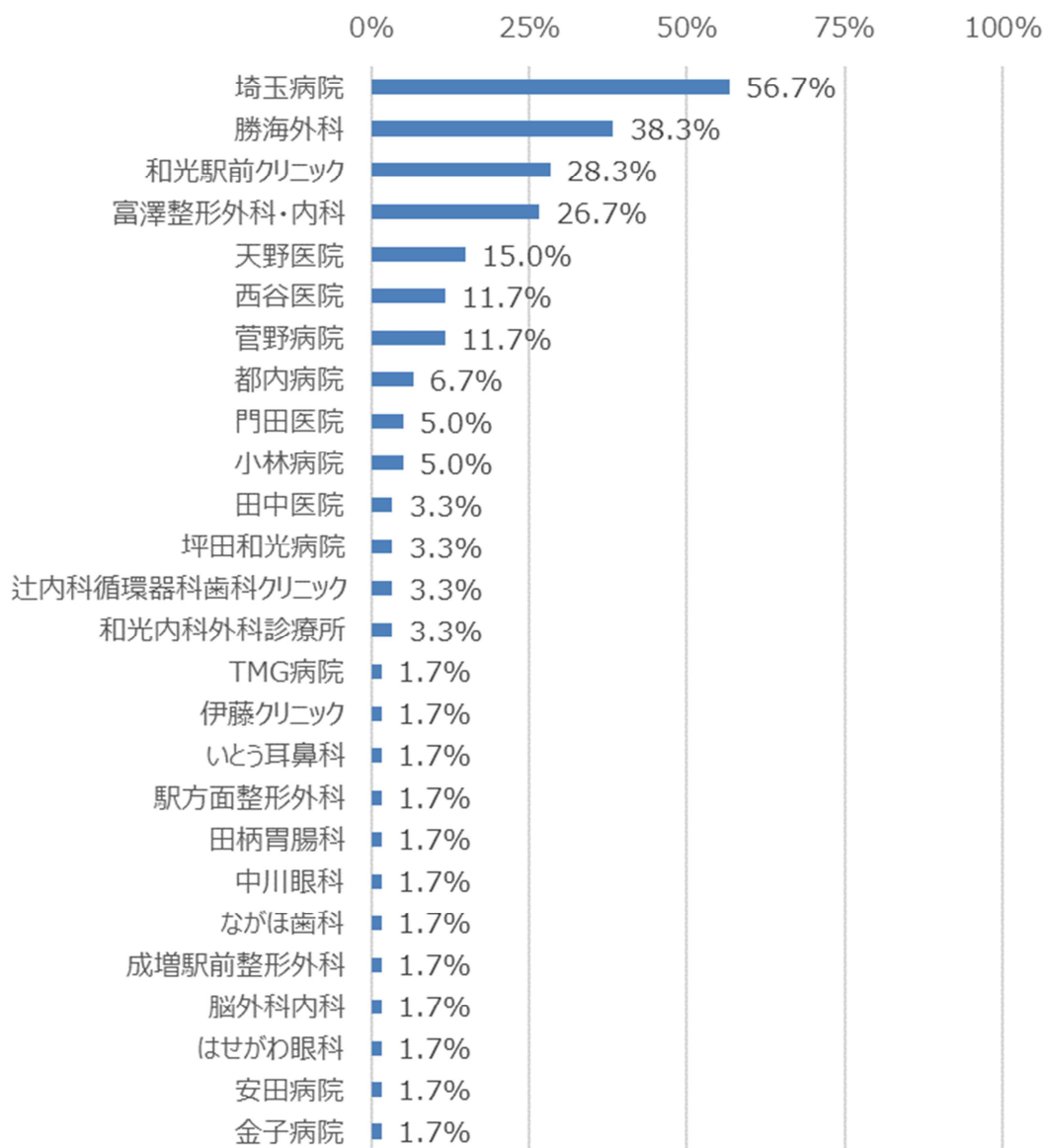


図 12 病院 高齢者の通院時の移動状況

(4) 【問 8-2】 高齢者の通院における交通手段

- 高齢者の交通手段では、「徒歩」が 53.5%（78 人）と最も高く、次いで「自家用車（家族・知人等による送迎）」が 36.9%（52 人）と続いている。

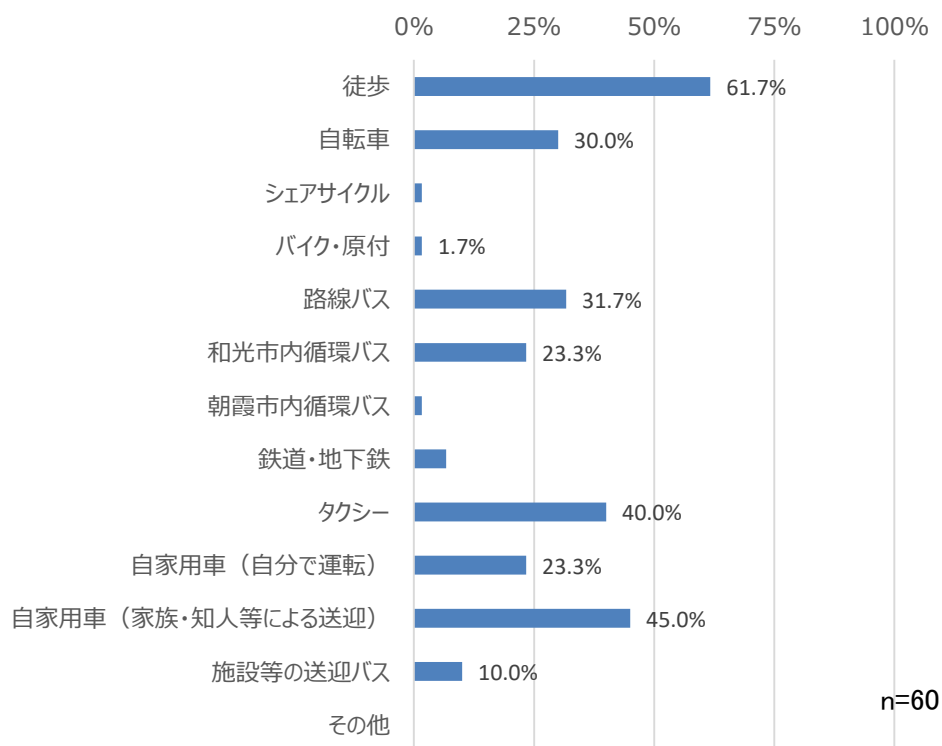


図 13 高齢者の通院時の交通手段

(5) 【問9】 民生委員として把握している“高齢者の移動に関する悩み”

・移動に関する悩みでは、「移動先までのバスの本数が少ない」が40.0%(24人)と最も高く、次いで「送迎などで頼る人が近所にいない」が36.7%(22人)と続いている。

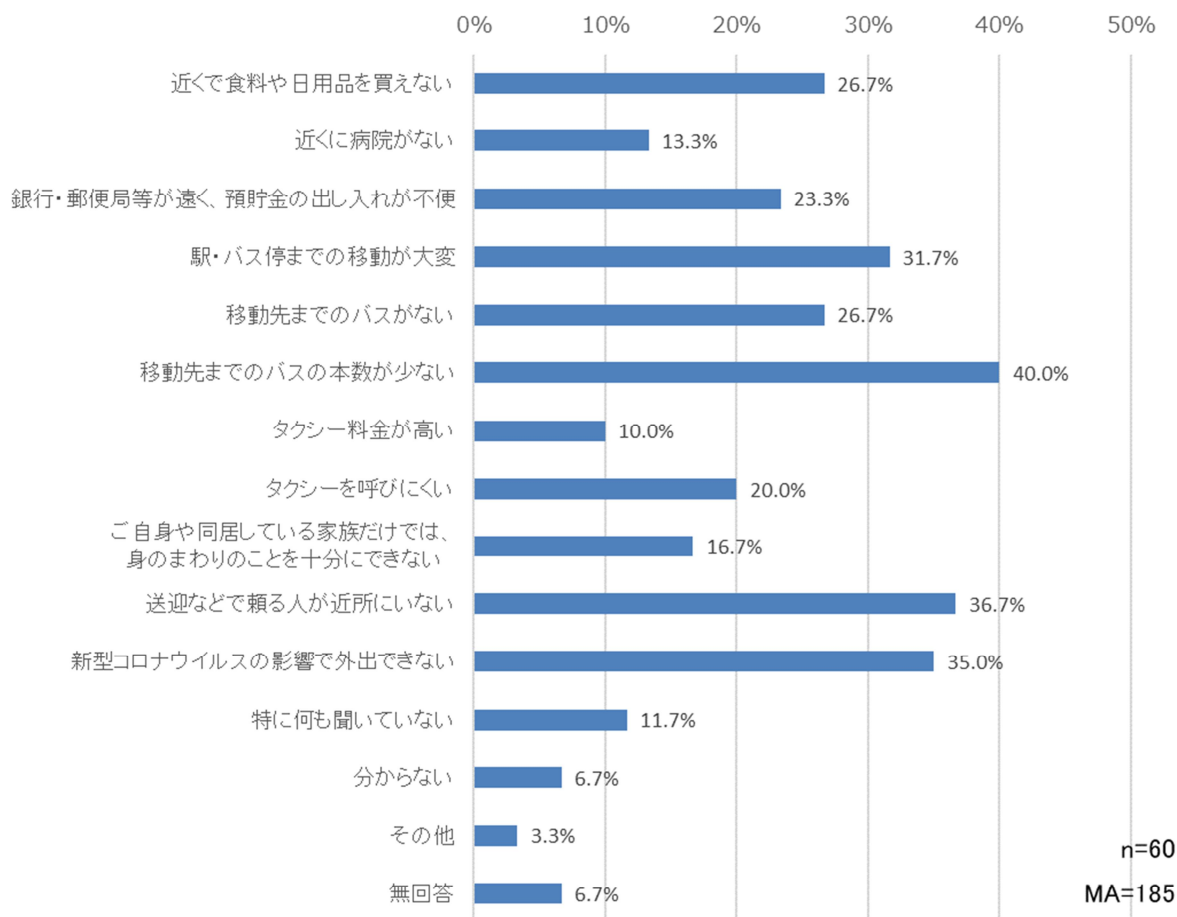


図 14 移動に関する悩み

表 9 移動に関する悩み

	回答数	割合
近くで食料や日用品を買えない	16	26.7%
近くに病院がない	8	13.3%
銀行・郵便局等が遠く、預貯金の出し入れが不便	14	23.3%
駅・バス停までの移動が大変	19	31.7%
移動先までのバスがない	16	26.7%
移動先までのバスの本数が少ない	24	40.0%
タクシー料金が高い	6	10.0%
タクシーを呼びにくい	12	20.0%
ご自身や同居している家族だけでは、身のまわりのことを十分にできない	10	16.7%
送迎などで頼る人が近所にいない	22	36.7%
新型コロナウイルスの影響で外出できない	21	35.0%
特に何も聞いていない	7	11.7%
分からない	4	6.7%
その他	2	3.3%
無回答	4	6.7%

(6) 【問 10-1】 民生委員として把握している“高齢者が移動手段で困っている事”

<回答内容（原文）>

- ベルク西大和ができてから、困難さは解消されたと思います。階段の団地のため、そもそも外出時の上り下り、買った品物の運び上げが大変なようです。配達サービスがあるので、使う方は利用しているのでは。腰が曲がり杖でようやく歩いている高齢女性に、いらなくなったショッピングカート（シルバーカート）をあげたら、その方が便利だと毎日使ってくれています。
- 足が悪く移動が難しい。
- 路線バスがないので、徒歩の人は雨が降ったときは困る。
- スーパー病院が近くにあるので困っている様子はないです。
- 和光市駅まで直通のバスが近くにない。本数が少ない。
- 坂が多い。道幅がせまい。
- バスの駐車場が近くにない。
- タクシーの呼び出しが難しい。
- 大型スーパー店への直通バス。
- 出かけるときは路線バス、循環バスの時刻を調べて行けるが、用事を終えて帰るときに丁度よいバスがなく、タクシーを使うことが多い。普段の生活では特に不便はないが、市役所やワクチン接種で保健センターを選んでしまったので、市の中心に出かけるときの移動に循環バスを利用したいが本数が少ない。
- 徒歩圏内にサミットストア、薬局、通院もできる。徒歩で通院できない人が路線バスやタクシーで通院している人もいる。富岡整形外科や和光リハビリ病院等は路線バス循環バスもないので、タクシーを呼び通院している人もいる。自身は移動の手段は自家用車であるので現在は困っていない。
- 担当区域は官舎であり、老人の方がいても必ず同居です。単独で住まわれている方はなく、広沢区域に関しては老人、障害者で外部の人の手を必要としている方は不在だと思います。世帯内で問題なく生活しています。
- 重い荷物が運べない。自宅からバス停まで遠い（道のでこぼこ段差も歩きづらい）。歩道が狭く歩きづらい、カートも押しづらい。交通量が多く怖い。
- バスの本数が少なく時間がかかる。市内循環バスを利用できればいいが、時間が合わない。
- 市内循環バスや路線バスの本数の少なさ。
- スギ薬局は近くて徒歩で行ける。ベルクは坂を上らないと行けない。高齢になると坂がきつく、吹上コミュセンですら行けない。埼玉病院へは市内循環バスが1本あるのみ。朝の早い時間なので、本数を増やして欲しい。路線バスは、成増まで行き、駅の反対側から乗り換えていくため、1本で行けるとありがたい。足を悪くすると富澤整形外科へ行けない。病院の送迎の車があるが、乗用車なので勝手が悪い。
- 以前のバス（市内循環バス）の順路が変わり利用しづらい。

- 中間地点にあり、どこへ行くのも中途半端だ。でもヤオコーができるというので良かった。
- 高齢になり病気もあり、歩くのも大変なので包括センターを利用。
- 徒歩で行くには少し不便。
- 車、自転車がない方は、全てタクシーなので、料金がかかってしまい、なかなかタクシーも呼べないとのこと。
- 成増駅までは多く路線バスが出ているので、何とか行き先まで交通手段を考えている（埼玉病院に通院や家族が入院している）。和光市内循環バスは、行きたい時間にそこに着くかわからない。本数も少ない。東武バスも市内循環バスも待てるようなイス等もなく、駅のような発着地ではないので時間がアバウトすぎて困る。けれども利用はしている。買い物、ベルクは急坂上なので、大変で。今まで通り成増利用。
- タクシーが呼んでも来ない。コンビニですませることがよくある。
- 生協などの利用者（特にコロナ禍になったことで）が多い。しかし生鮮品などのお店がないことで不自由。成増に出るには2本（西武東武）あるが、和光へは少ない（特に土日の場合）。タクシーも中々（ほとんど）拾えない。
- 通院時、特にタクシーがない（埼玉病院まで行き乗って来て患者を乗せている人もあり）。
- 埼玉病院へは路線バスを乗り継がなければ行けない。和光市内循環バス（中央コース）を利用すれば埼玉病院へは行かれるが、下新倉5-6丁目からは利用できるバス停まで遠く、運行本数も少なく不便。個人病院からの紹介で埼玉病院に通院している人が多い。
- 《独居高齢者》
- 他市に身内が住んでいる。食料品は、その身内がまとめて買い物して、届けてもらっている。
- 病院に行く際、身内の人に来てくれる。来られない場合バスを利用している。
- 各位工夫して目的地まで往復している。
- 成増駅光が丘駅方面へは路線バスが運行され本数も多いが、和光市駅市役所方面への公共の交通手段は限りなくゼロに近く、非常に不便である。
- 歩道がタイルできれいにはなっているのですが、杖や車椅子の車輪がはまってしまい歩きにくい。
- 東京や近隣の市では高齢者に無料バス利用券を配布しているのに、和光は配布されない。
- 和光駅の電車とホームの間が広くて、歩行器の車輪が脱輪してしまうことがある。
- シェアサイクルは高齢者向きではない。
- 1人で外出が困難な方は、往診や移動スーパーの方が便利だと言う方が多い。

(7) 【問 10-2】 民生委員として把握している“高齢者が路線バスを利用する上で困っていること”

<回答内容（原文）>

- 西大和団地は恵まれていると思います。
- 近くにバスが走っていない。
- 新倉には、路線バスがでていない。
- 埼玉病院へ通院するには、和光市駅から本数が少ない。
- 本数が少ない。
- バス停が遠い。
- 本数が少ない。
- 民間のバス会社の運行バスがない。
- 和光方面への路線バスは走行していない（成増行きはあるが）。
- 路線バスも循環バスと同じように無料バス証が使用できるようしてもらえると、負担が軽くなる。
- バス停まで遠い。
- 東京都と隣接しているので買い物は練馬区、板橋区の店舗に行く事が多い。都の高齢者が使っているバスチケットがあれば便利だと思います。
- 先日雨の日に路線バスを利用しようと停留所に来た方が「乗ろうと思って来たが、あるはずの時間のバスがない！！」と言って、タクシーも来ないし、駅まで歩かないと！と雨の中困っていました。時刻表が入手できる所を広めてほしい。
- 目的地への乗り換えが大変。バス停までが遠いので歩くのが大変。
- もっといろいろな方面に走ってほしい。
- バス停まで遠い。
- ベルクやイトーヨーカドー、和光市駅前の商店街での買い物に行きやすくするため、南口行きのバス（東武）の本数を増やして欲しい。
- 本数が少ない。時間に来ない。
- 国際興業バス、東武バスと便がいい。成増に行くにはいいが、和光へは東武バスしかなく、1時間に1本、ない時間帯もある。もう少しあると和光に行きやすくなる。路線バスは東京都のようにシニアバスがあるといい。
- 本数を多くしてほしい。
- 市役所、駅前（銀行）方面に行きやすくしてほしい。
- バス停まで少し遠い。
- 丸山台3丁目は旧道も路線バスがなくなり、高齢者の方はもっぱら徒歩です。
- 補助があると良い。

- 便数が少ない。
- 自宅から和光市駅までの移動が徒歩で大変だと聞いたことはあります。
- 和光市民でありながら足が少ない（中には和光市駅から成増へ出て成増からバスで帰宅する人もある）。
- 西武／東武の両車と同じダイヤ（時刻）にダブって運行（どちらかが混雑、どちらかが空車で）。
- 光が丘駅・練馬駅・石神井公園駅・成増駅方面へのバス路線は整備されているが、和光市駅、市役所、埼玉病院等、和光市内施設への移動のための公共バスの路線はないので非常に不便。
- 歩行器が1人では載せられないので利用できない。
- 駅前のバス待合所は雨で濡れてしまうし、早く歩けない高齢者には待ちにくい。

(8) 【問 10-3】 民生委員として把握している高齢者の“市内循環バスを利用する上で困っていること”

<回答内容（原文）>

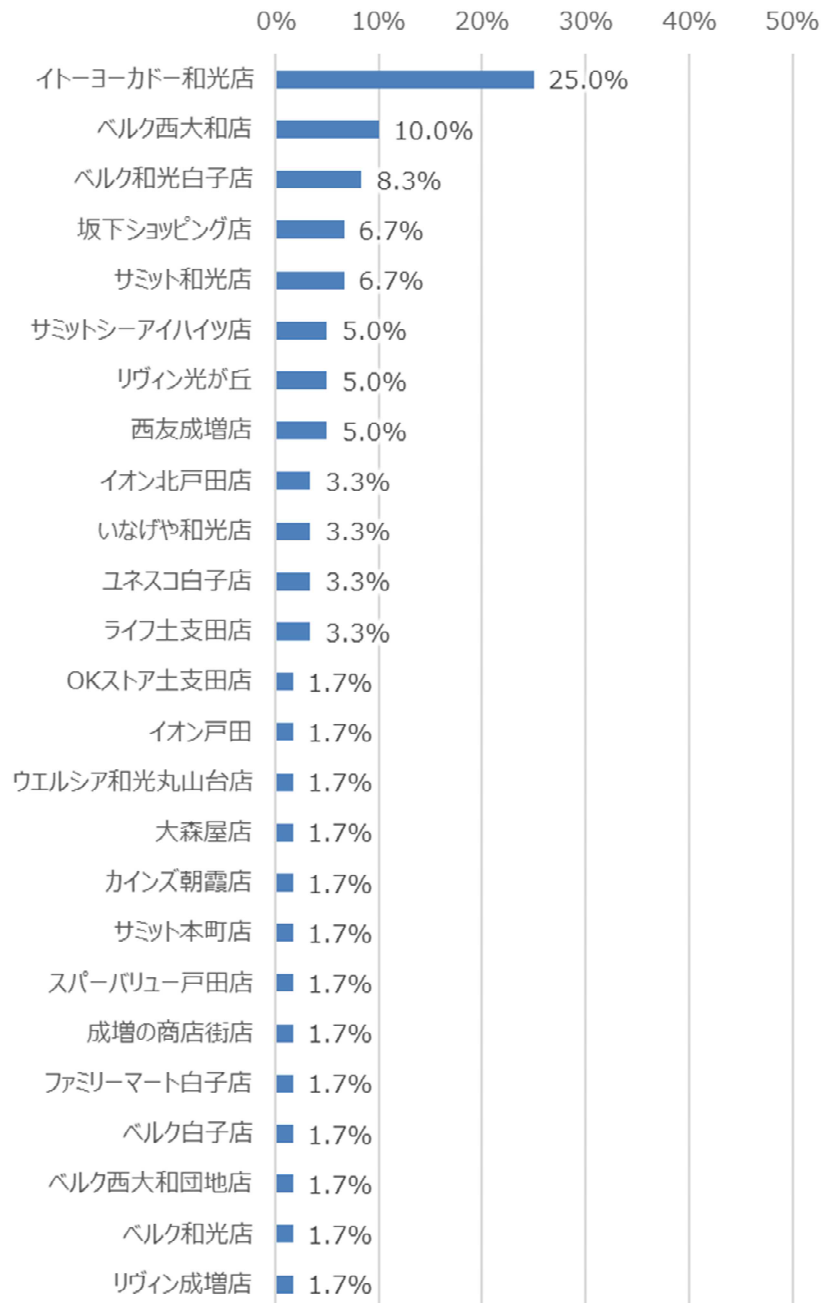
- 駅まで行くなら路線バスの方が早いです、70 歳以上は無料なので、市役所の乗り場まで行って乗る方もいらっしゃいます。この付近の方は、助かっていると思います（選ぶことができるから）。
- 本数が少ない。
- 駅で一回降りないと（市役所／社協）に行けない。
- バス停に日よげがない（夏は非常に暑い）（外環歩道）。
- バス停に風よげがない（冬はとても寒い）（外環歩道）。
- せまい道路にバス停がある（路上で待っている）。
- 本数が少ない。
- 市役所に行くのに利用するのですが、本数が少ないとの事。
- 全体的に不便。
- 目的地まで時間がかかる。
- 市内循環バスの便数が少ない。路線が少ない。
- 利用しているが 2 時間に 1 本では不便を感じる。
- 本数が少ないという意見を多く聞く（自身はあまり利用したことはないが）。
- 目的地まで遠回りのため時間がかかりすぎる。
- 目的地に行っても帰りのバスが少なく不便。
- 時刻表を頼りに南まわり循環バスに乗ろうと思っていましたが、いつの間にかその時間のがなく、結局路線バスに乗ったことがありました。時刻表の改正があった時はお知らせしてほしい。
- バス停が遠い。行きたい場所へかなり遠回りで利用しづらい。本数が少ない。
- 時間がかかりすぎる。本数が少なく利用しにくい。もっと遅くまで走ってほしい。
- 何回か利用した事がありますが、目的地に行くまでの時間がかかり過ぎ（遠回りする事を知らなかった）。
- 本数の少なさと目的地までの所要時間がかかり過ぎるため、ほとんど利用していない（現在の循環バスは無駄！！）。富澤整形外科・内科病院のような送迎バスを他の病院と提携して送迎出来るようにしてほしい。
- 埼玉病院の行き帰りが本数が少なすぎて困る。循環バスの乗り継ぎ、スムーズでない。あまり待ちたくない。
- 循環バスの手続き→自宅へ（〇〇歳以上）乗車証の配布など。

- 近所にバス停がない。
- 丸山台3丁目は、昔から大和中のところでバスが曲がってしまい、3丁目まで来ないということが実情です。高齢者の方は同じ市民で、バスに乗れない地区があり、大変だと言っていました。
- 行きたいところにまっすぐ行かないので時間がかかる（本数が少ない）。
- 本数が増えると良い。
- 便数が少ない。
- 本数が少ない。時間がかかる。目的地まで直接行けない。
- 本数が少ない（一律（高齢の方も）100円バス代を支払い、それで増やすことはできないのか）。
- 駅、市役所、保健センター、病院等に行くのに利用したいと思っているが、時間がちょうど良い運行がないので、仕方なく路線バスを使ったり、駅からはタクシーを使ったりしている。運行本数を増便してほしい。
- 市内施設を利用する際、その開始時に間に合わない場合に、少し早めの巡回バスに乗る。すると、開始時間まで待ち時間が長くなる。逆に、帰る際、巡回バスは市内を一周りするようなコースとなり、長時間の乗車となる。よって、急がない場合、市巡回バスを利用している。
- 本数が少なく時間もかかるので利用できない。
- 本数が余りに少ない。ルートが長すぎる（何の役にも立ってない！！）
- 本数も少なく、目的地に向かうときも非常に遠回りになることがある。また、市内の施設なのに直行していない箇所が多い。
- 「赤池」バス停の場所が変更になり、人家の玄関付近で降りるのがとても嫌だと聞きました。交差点より先のマンションや氷川八幡神社近くから来る方もおり、バス停が遠くなった感じがするとの事。バス停は、赤池通りのカーブの所なので車も危ないのではと聞きました。
- 歩行器を1人では載せられないので利用できない。

4-3 担当地区内の子育て世代の移動実態

(1) 【問 11-1】 子育て世代の買物先

子育て世代の買い物の移動状況では、「イトーヨーカドー和光店」が 25.0%(15 人) と最も高く、次いで「ベルク西大和」が 10.0%(6 人)と続いている。



MA=64

図 15 利用店舗名 子育て世代の買い物の移動状況

(2) 【問 11-1】子育て世代の買物における交通手段

• 子育て世代の交通手段では、「自転車」が74.2%(98人)と最も高く、次いで「自家用車(自分で運転)」が59.1%(78人)と続いている。

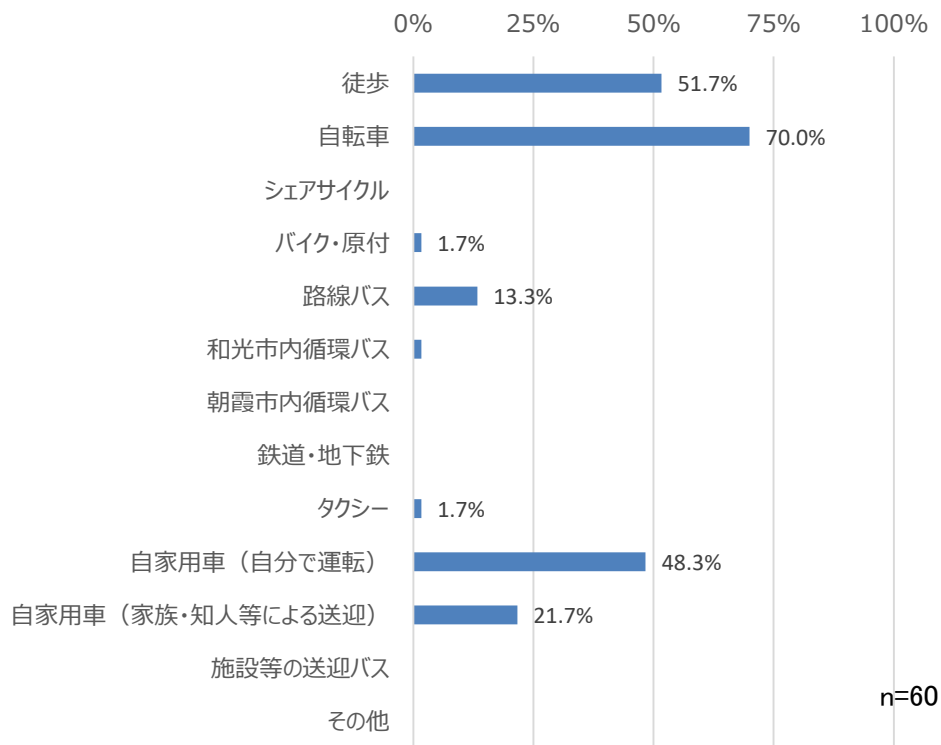


図 16 交通手段 子育て世代の買い物の移動状況

(3) 【問 11-2】子育て世代の通院先

• 子育て世代の通院時の移動状況では、「和光駅前クリニック」が28.3%(17人)と最も高く、次いで「埼玉病院」が26.7%(16人)と続いている。

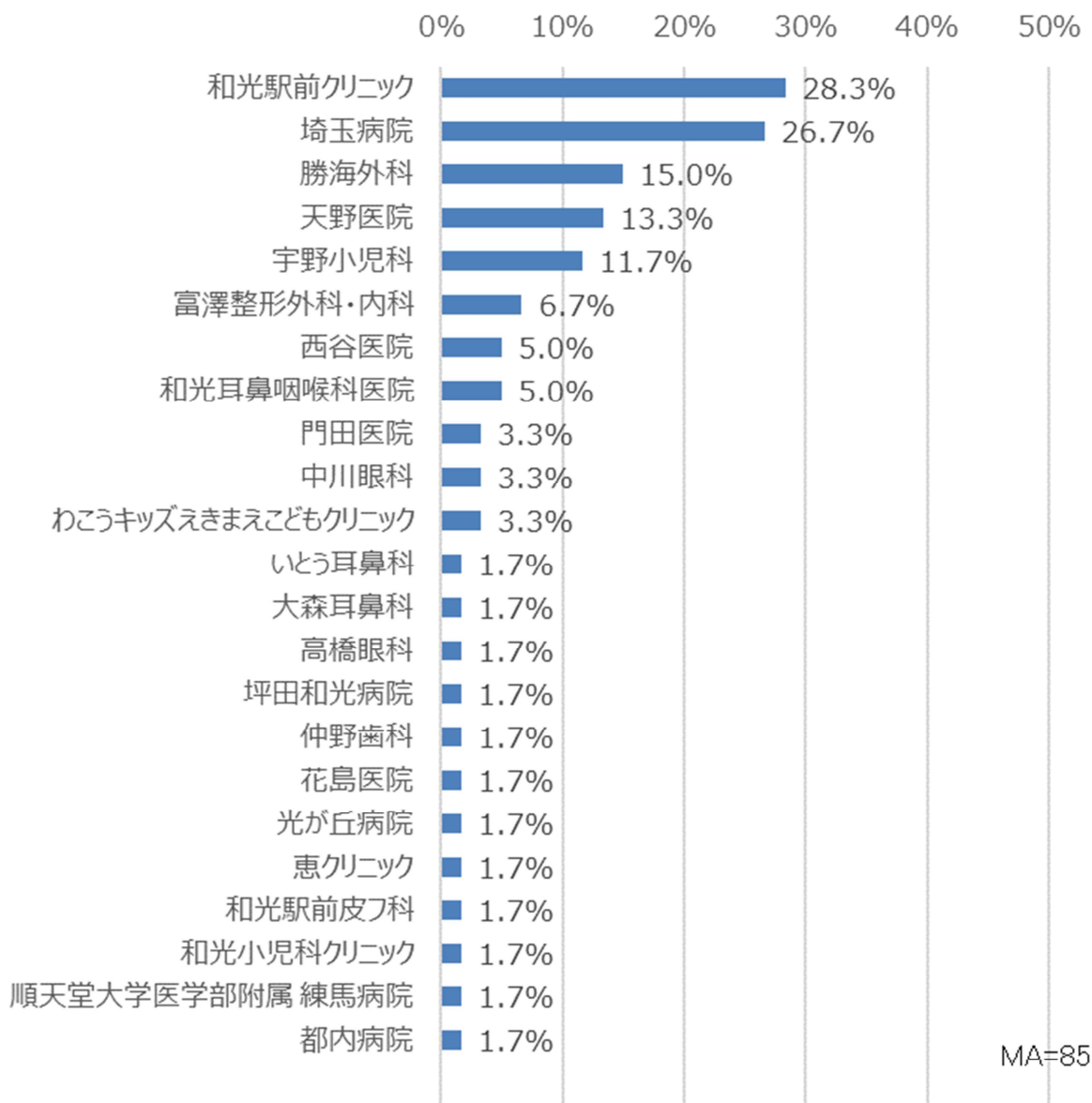


図 17 病院 子育て世代の通院時の移動状況

(4) 【問 11-2】子育て世代の通院における交通手段

• 交通手段では、「自転車」が 65.9%(56 人) と最も高く、次いで「徒歩」が 51.8%(44 人) と続いている。

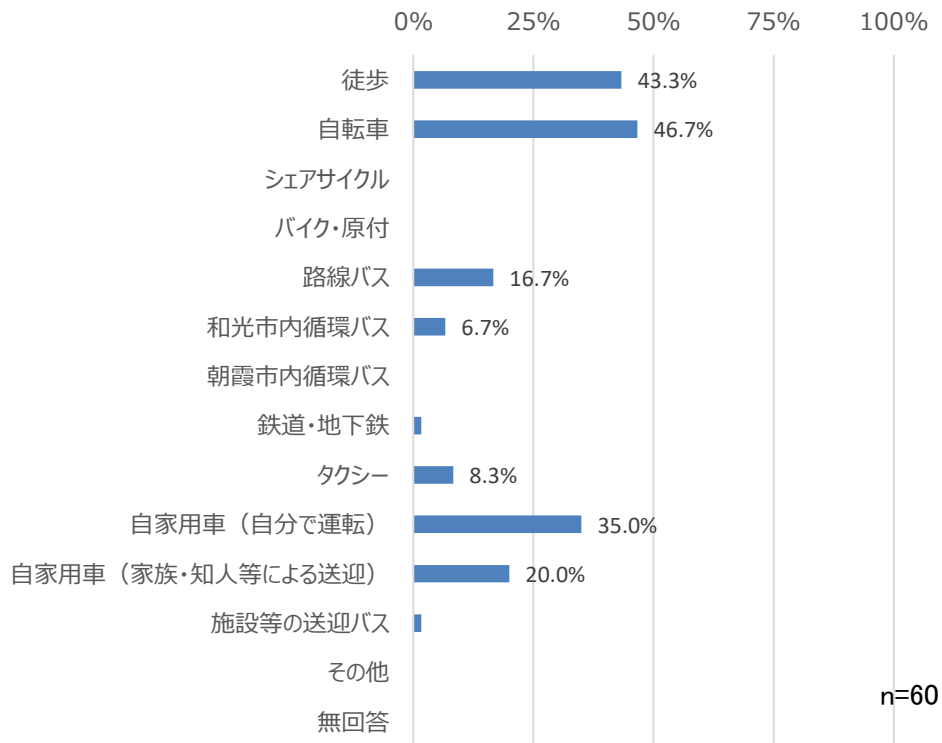


図 18 交通手段 子育て世代の通院時の移動状況

(5) 【問 12】 民生委員として把握している“子育て世代の移動に関する悩み”

移動に関する悩みでは、「新型コロナウイルスの影響で外出できない。」が23.3%(14人)と最も高く、次いで「移動先までのバス本数が少ない」が18.3%(10人)と続いている。

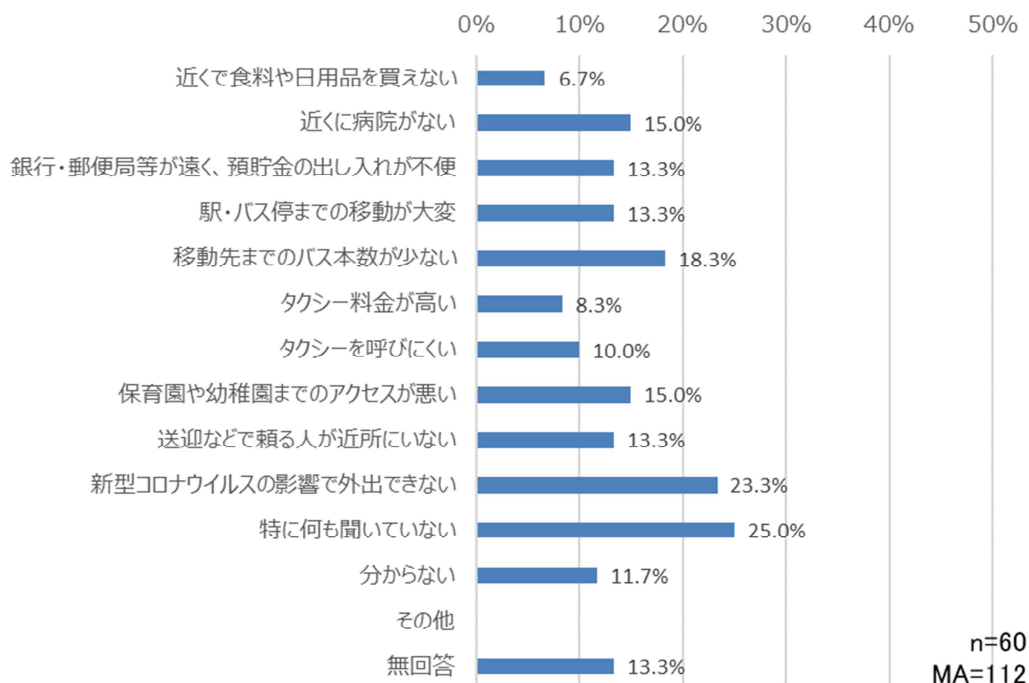


図 19 移動に関する悩み

表 10 移動に関する悩み

	回答数	割合
近くで食料や日用品を買えない	4	6.7%
近くに病院がない	9	15.0%
銀行・郵便局等が遠く、預貯金の出し入れが不便	8	13.3%
駅・バス停までの移動が大変	8	13.3%
移動先までのバス本数が少ない	11	18.3%
タクシー料金が高い	5	8.3%
タクシーを呼びにくい	6	10.0%
保育園や幼稚園までのアクセスが悪い	9	15.0%
送迎などで頼る人が近所にいない	8	13.3%
新型コロナウイルスの影響で外出できない。	14	23.3%
特に何も聞いていない	15	25.0%
分からない	7	11.7%
その他	0	0.0%
無回答	8	13.3%

(6) 【問 13-1】 民生委員として把握している“子育て世代が移動手段で困っていること”

<回答内容（原文）>

- 西大和団地は世帯数が多く、近くの官舎と併せるとかなりの人口がある。シェアカーサービスを団地のどこかに作ったら助かると思います。
- 自転車がメインの移動手段なので雨が降ると困る。
- 雨天の場合は、自転車では無理な場合があるので、タクシーに頼らざるをえない。バスの本数や路線がもう少しあると良い。
- 坂が多い。
- 道幅が狭い。
- 実家が近くにある方がほとんどいなく、遠方にいるため、すべてにおいて頼る方がなく、困っている人が多いです。特に乳幼児をかかえている方は、引越してすぐで知人もなく、買い物・病院等の情報もなく、孤立しがちです。ご主人も忙しい方が多く、子育て全般援助を必要とされている方が多い現状です。
- 買い物、病院はほとんど自家用車で、が多い。
- 駐車場が狭いので車で行きにくい。
- 子供が小さ過ぎるため、自転車での移動が難しい人達が利用しやすい路線バスや循環バスの利便性の悪さ。
- 雨の日は、車がない方は外に出ないようです。病院への時は、タクシーを呼んでいます（タクシーも、すぐに来てくれなかったりとお母さん方は苦労しているようです）。買い物に関しては、秋にヤオコーができるので、若いお母さん達は楽しみにしています！！
- 歩道の設備が必要（狭い）。
- 自転車のルール・マナーが悪い。
- 近くにお店がない。ウェルパークでは欲しい物がない。種類も同様。
- 買い出しにいくことでお天気が悪い時など足がない（普段は自転車でも行けるが）。
- 駅周辺の病院は駐車場がない、狭いため、別のパーキングに停めるが、具合の悪い時はそこまで歩くのが辛い。
- コンビニを利用（近くで徒歩）。仕事帰りに新宿・池袋のデパートで買い物をしている（路線バス）。トイレトペーパーなどかさの張るものについては、スーパーを利用している（自宅の車）。子供の発熱で病院に行く際、家族に運転依頼。市内循環バスは時間がかかるようだ。
- 都内方面への公共移動手段は整備されているが、この地域から和光市中心部等への移動手段がない。
- 中央エリアまたは成増に移動するには路線バスを利用するが、和光市駅方面に行く路線バスはバス停が遠い。市内循環バスは時間がかかる。自家用車がない場合は自転車での移動となる。坂が多く大変である。

- 大きな病院は駐車場があるが、それ以外だと車での来院を断られるので子供の具合が悪い時には不便。
- 子供がぐずるといけないので、公共交通機関はそもそも利用しない。
- 和光の駅前には道幅が広いが、段差が多く地面の凹凸が障害になっている。
- 自転車のふらつきやスピードの出しすぎが恐怖で歩行し辛い。
- 病院でも授乳室のある所とない所がある。
- パパの育児参加にも配慮して欲しい（おむつ替えが女子トイレのみではなく男性トイレにも）。

(7) 【問 13-2】 民生委員として把握している“子育て世代が路線バスを利用する上で困っていること”

<回答内容（原文）>

- 私自身は全く使わないが、自宅近くに乗車場（バス停）があります。高齢者のためにイスが置いてあったりするのは良いと思います。暗くなってからの乗り降りのため、バス停は明るくしてもらえたらと思います。
- 路線バスがない。
- 新倉には、路線バスがでていない。
- バス停が遠い。
- 数が少ない。
- ベビーカーなのでバスの乗り降りが大変。
- 乗り継ぎが大変。
- バスが少ないのもっと沢山出てほしい。
- 和光市駅方面行きのバスの便数が少ない（イトーヨーカドーまたはベルクへの買い物、和光市駅南口行きのバス）。
- 路線バスは通っていないので、可能であれば成増駅まで通してほしいという声があります。
- 官舎の利用しやすい所にバス停がない（あってもよくわからない）。降りてから歩く距離が長い。
- 南大和↔成増駅南口は西武／東武でダイヤがダブる（特に朝夕）。
- そもそも市内中心部に向かう路線がない。
- 本町は比較的すぐに買い物も通院もできるので子育て世代がバスを利用することが少ない。近くに揃っているため。
- ベビーカーは乗り降りしづらい。
- ベビーカーを置くと肩身が狭く、抱っこひもを使わないとバスに乗れない。
- バスの座席が狭い。

(8) 【問 13-3】 民生委員として把握している“子育て世代が市内循環バスを利用する上で困っていること”

<回答内容（原文）>

- 混んでいるのであまり利用しない。
- バギー等で乗りにくい（せまい）。
- 車内があまり広くないので、ベビーカーを持っては乗車できない。本数が少ないので、利用するつもりにならない。
- 目的地まで、時間がかかる。
- 本数が少ない。
- 幼児健診の時など時間に合ったバスを出してあげるといいと思います。
- 本数が少ない。
- 電車を利用する時に丁度よい時刻がない。本数をもう少し増やしてほしい。
- 本数が少ない。目的地まで時間がかかりすぎる。ほとんど利用しない。
- 本数が少ないので利用できない。
- 本数の少なさ、利便性の悪さ（余りにも時間がかかる）。特に市役所や和光市駅前への買い物に行く場合。
- 利用しない。検診の時使用する（保健で均一）。
- 丸山台2丁目までしか通っていないので、ぜひぜひ丸山台3丁目まで通って欲しいと、車や自転車のない乳幼児のお母さん達は口々に言っていますので、よろしく願いいたします。秋に丸山台3丁目にヤオコーができるので、ぜひ市内バスを通して欲しいです。
- ほとんど利用していないと思われる。
- 子育て世代の方で市内循環バスを利用している人を見かけたことはありません。
- 乗り場、ダイヤなど、良くわからない。土地勘がないので、どの辺なのかピンと来ない。結局、よくわからないので、車に頼ってしまう。
- 運行本数が少ないので利用していない。
- 市内を一巡するため時間がかかる。
- 本数も少なく、路線網も必要な施設に行くには合理的ではなく使っていない。
- 時間がかかり過ぎる。

4-4 公共交通の現状や今後の在り方について

(1) 【問 14】公共交通の現状や今後の在り方について、自由意見

<回答内容（原文）>

- 内循環バスは路線バスが行っていないところの方が多く、利用できる方には価値があると思います。
- 市内循環バスの本数を増やしてほしい。
- 和光市は南地区は成増駅、東側も成増駅と、市内が分断されているので、市内全体から和光市駅、市役所へのバス路線をもっと充実させてほしいと思います。
- 駅前地区なので、困っている人はいません。
- 市内循環バスの運行について検討してほしい。歩道を広くしてほしい。
- 現状は高齢者に適した公共交通ではないので、高齢化社会に向けた対策が必要。
- （例）市役所―埼玉病院―大型スーパー店の循環バス路線の設置。
- 高齢化社会になり、免許返納する人が増えたら、バス・タクシーを利用する人が増えると思います。私の住む地区は成増駅に近いので不便は感じませんが、循環バスの本数を手厚くする必要のある地域や、タクシーの待機場所にマンションの駐車場を提供したり、各地域で必要なものがその地域に優先させられるといいと思います。
- SDGs をめざすなら、循環バスを電気自動車にしてほしい。利用状況に見合う循環バスの状況も考えてほしい。
- 官舎においては官舎内に相談窓口を設けてもいいかと思っています。幼稚園、病院、買い物等、情報を与えられる冊子があったり、話ができる人がいたり。その役目を民生委員がしてもいいのではと思っています。とにかく頼る人がおらず、引越されて来た方の不安を取り除ける援助ができればと思っています。
- 路線バスの料金が安い。時間通りに進めるバスであってほしい。道路が混むと時間が読めない。
- バスは利用したことがない。発着時刻、所要時間が分からず不安だから。
- 市内を横断できる南北の移動ができないので動きが悪く、不便を感じる。南北の交流もなく（北口、南口方面）、施設も利用できない。もっと交差して乗り継げるようになればいいと思う（1時間に1本程度ではなく）。
- 市内循環バスの本数が少ない。
- 各地区での交通弱者や子育て世代の人達の移動手段の実態を十分に分析して、それぞれの地区を基点とした目的地までの利便性の高い交通手段を考えて欲しい。デマンド交通の導入、各地域でのボランティアによる移動の手伝い（ガソリン代を含め手当は支払う）。
- 高齢者は埼玉病院にかかります。ご家族で運転される方がいればいいのですが、たいてい独居。歩けるうちにご自身で通院したく。朝の8時台に1本しかありません。10時台にもう一本あると助かるとのこと。
- バス利用の方は少なく、買い物や通院はタクシーを呼んでいる方が多いです。

- 路線バスはなく、市内循環バスも少ないので利用する方が限られています。認知する方法等が必要と思います。
- 私の現状もすべて自家用車です。埼玉県内、お隣の戸田市や朝霞市の大型スポーツ施設（公共）、公園、県営施設等行くにも、鉄道駅に行くには白子地区は遠くて、坂が多く、運動指導を仕事にしている私にも大変だと思います。国の政策ではなく、県の、市の、町の、縦割行政。東京都隣接地和光市も都営三田線、都営大江戸線、この2線が成増近い都と県境に結びついてくれたら、徳丸三園、下赤塚等でも、いろいろな場所に出やすくなる。そういう計画をするのは、公共交通担当だと思います。東上線の駅近く隣地の都営や営団駅、行政の区画整理事業、県道等延長等と重なれば、話す、検討すべき時ともなのですが、公共事業、設備、ハード、箱物、やりましょう！！と公約することは、まず、ないに近い。何のための交通整備なのか、今、困っている地域の事をこのように調査して、意見を求め、データ化する。大切だと思います。古い建物でも補修して使えそう、危険ではない状態であれば、予算を回すところは安全に立て、歩き、個人のQOLを上げる事。サポートが必要ならば、福祉面のハード、ソフトの充実が優先。公（市役所）の仕事では、交通弱者のための外出機会の設備。交通網が無の所の方を意識して、その地域に物資的サポート、市民マルシェ等の開催できる広場や民間、NPO等の使いやすい施設やコミュニティバス等で交通網を結びつける等、必要不可欠だと思います。
- 駅に近い環境のため必要としていない。
- 子育て世代と高齢者では生活スタイルが異なっているので、それぞれ別々に分けて対策をとる方が良いと考えています。高齢者では通院の交通手段だったり、子育て世代ではそれよりも必要性の高いことに。全体をザックリとまとめるのは止めて、きめ細かい対策が、利用されやすいと思います。
- 若い世代は買い物にネットを利用するなど、さほどお困りのご様子はありませんが、高齢者の方で「ゆめあい」を利用したいが、直接行けないので（乗換などがある）不便ですというお声があった事があります。
- 西大和大地のサンディがなくなった時は、1年近くもベルクが開店せず、困る人がかなりいました。同時期に本町のサミットも閉まった時期があり、私は車を運転するので、初めて新座のいなげやに行きました。決まったダイヤだけで運行するのではなく、臨時で「お買物バス」的なものを運行してはどうでしょうか。
- ゆめあい和光高齢者福祉センターと新倉高齢者センター行きのバスは送迎が一日に一便だけ。せめて午前と午後、各々二便ずつにしてほしい。午後からの講座や教室に参加するのに不便で困る。
- 駅北口の開発を早急に願いたい。雨の時、自家用車があふれ、通行の妨げが生じている。
- 全てに満足を得る事は不可能と推察するも、市内循環バスは利便性も薄く、加えて市役所／和光市駅等に満足を得ない！！関わる市民に費用をオープンにし、加えてC/Sを問う必要有。
- 車輛をもっと小型にして（例えばハイエース etc）、経費を圧縮し、その分路線と本数を増やして欲しい。